

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。  
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント  
One Point

# 水素

nikko am  
Nikko Asset Management

vol.6

## モビリティ分野から水素の促進を図る静岡県

静岡県は、水素エネルギーの利活用に向けた開発を官民が一体となって進めています。2050年のカーボンニュートラル社会の実現と、同県での経済と環境の好循環を目指した「ふじのくにエネルギー総合戦略」を掲げ、燃料電池自動車(FCV)の普及や燃料電池バスの導入、水素ステーションの整備など、モビリティ分野を中心に開発に取り組んでいます。



水素エネルギーを利活用した「静岡型水素タウン」の実現を目指す静岡市は、「貯める・運ぶ・使う」といったサプライチェーンの構築に取り組んでいます。2021年7月には、ENEOSとともに清水製油所の跡地(約20万㎡)で新たな地域作りを始めています。

ENEOSは、大規模太陽光発電所(メガソーラー)で発電した電力を使い、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しない「グリーン水素」を製造。市内を走行する燃料電池自動車(FCV)のほか、燃料電池トラック/バス、また港湾施設で稼働する燃料電池フォークリフトなどにエネルギーを供給する計画で、2024年度ごろの運用開始を目指しています。



※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。